

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公開番号】特開2008-268505(P2008-268505A)

【公開日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-044

【出願番号】特願2007-110601(P2007-110601)

【国際特許分類】

G 0 3 B 17/56 (2006.01)

H 0 4 N 5/222 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 17/56 B

H 0 4 N 5/222 B

H 0 4 N 5/232 Z

G 0 3 B 15/00 P

G 0 3 B 5/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月16日(2010.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

雲台回転部に、取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像装置を取り付ける雲台装置において、

前記雲台回転部の駆動パターンが、一定速度で駆動する駆動パターンであるか否かに応じて前記防振機能のオン及びオフを制御する制御手段を備えることを特徴とする雲台装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記雲台回転部の駆動パターンが前記一定速度で駆動する一定速度パターンである場合、前記防振機能をオフに制御し、前記雲台回転部の駆動パターンが駆動と停止を繰り返す間歇駆動パターンである場合、前記防振機能をオンに制御することを特徴とする請求項 1 記載の雲台装置。

【請求項 3】

前記雲台回転部の駆動終了命令を受信する受信手段を備え、

前記制御手段は、前記雲台回転部を所定速度以上の一定速度で駆動中に前記駆動終了命令が受信されると、前記雲台回転部が停止する前に前記防振機能をオンに制御することを特徴とする請求項 1 記載の雲台装置。

【請求項 4】

前記雲台回転部の駆動終了命令を受信する受信手段を備え、

前記制御手段は、前記雲台回転部を前記所定速度未満の一定速度で駆動中に前記駆動終了命令が受信されると、前記雲台回転部が停止してから前記防振機能をオンに制御することを特徴とする請求項 1 記載の雲台装置。

【請求項 5】

雲台回転部に、取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像装置を取り付ける雲台装置において、

前記雲台回転部の駆動終了命令を受信する受信手段と、

前記雲台回転部の駆動パターンが、一定速度で駆動する一定速度パターンのとき、前記防振機能をオフに制御し、前記雲台回転部の駆動パターンが、前記一定速度パターンでないとき、前記防振機能をオンに制御する制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記雲台回転部を所定速度以上の一定速度パターンで駆動中に前記駆動終了命令が受信されると、前記雲台回転部が停止する前に前記防振機能をオンに制御することを特徴とする雲台装置。

【請求項 6】

雲台回転部に、取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像装置を取り付ける雲台装置において、

前記雲台回転部が回転しつつ画像を取り込む流し撮りモードを選択する選択手段と、

前記流し撮りモードが選択されたことに応じて前記防振機能をオフに制御し、当該オフ制御後、前記雲台回転部の駆動終了命令に依りて、前記防振機能をオンに制御する制御手段とを備えることを特徴とする雲台装置。

【請求項 7】

取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像装置の制御方法において、

前記撮像装置が取り付けられる雲台回転部の駆動開始終了命令を受信する受信ステップと、

前記雲台回転部の前記駆動パターンが、一定速度で駆動する一定速度パターンのとき、前記防振機能をオフに制御し、前記雲台回転部の駆動パターンが、前記一定速度パターンでないとき、前記防振機能をオンに制御する制御ステップとを備え、

前記制御ステップは、前記雲台回転部を所定速度以上の一定速度パターンで駆動中に前記駆動終了命令が受信されると、前記雲台回転部が停止する前に前記防振機能をオンに制御することを特徴とする制御方法。

【請求項 8】

取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像装置の制御方法において、

前記撮像装置が取り付けられる雲台回転部が回転しつつ画像を取り込む流し撮りモードを選択する選択ステップと、

前記流し撮りモードが選択されたことに依りて前記防振機能をオフに制御し、当該オフ制御後、前記雲台回転部の駆動終了命令に依りて、前記防振機能をオンに制御する制御ステップとを備えることを特徴とする制御方法。

【請求項 9】

取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像装置の制御方法において、

前記撮像装置が取り付けられる雲台回転部の駆動パターンが、一定速度で駆動する駆動パターンであるか否かに依りて前記防振機能のオン及びオフを制御する制御ステップを備えることを特徴とする制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するために、本発明による雲台装置は、雲台回転部に、取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像装置を取り付ける雲台装置において、前記雲台回転部の駆動パターンが、一定速度で駆動する駆動パターンであるか否かに依りて前記防振機能のオン及びオフを制御する制御手段を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明による雲台装置は、雲台回転部に、取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像装置を取り付ける雲台装置において、前記雲台回転部の駆動終了命令を受信する受信手段と、前記雲台回転部の駆動パターンが、一定速度で駆動する一定速度パターンのとき、前記防振機能をオフに制御し、前記雲台回転部の駆動パターンが、前記一定速度パターンでないとき、前記防振機能をオンに制御する制御手段とを備え、前記制御手段は、前記雲台回転部を所定速度以上の一定速度パターンで駆動中に前記駆動終了命令が受信されると、前記雲台回転部が停止する前に前記防振機能をオンに制御することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

さらに、本発明による雲台装置は、雲台回転部に、取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像装置を取り付ける雲台装置において、前記雲台回転部が回転しつつ画像を取り込む流し撮りモードを選択する選択手段と、前記流し撮りモードが選択されたことに応じて前記防振機能をオフに制御し、当該オフ制御後、前記雲台回転部の駆動終了命令に応じて、前記防振機能をオンに制御する制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明による制御方法は、取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像装置の制御方法において、前記撮像装置が取り付けられる雲台回転部の駆動開始終了命令を受信する受信ステップと、前記雲台回転部の前記駆動パターンが、一定速度で駆動する一定速度パターンのとき、前記防振機能をオフに制御し、前記雲台回転部の駆動パターンが、前記一定速度パターンでないとき、前記防振機能をオンに制御する制御ステップとを備え、前記制御ステップは、前記雲台回転部を所定速度以上の一定速度パターンで駆動中に前記駆動終了命令が受信されると、前記雲台回転部が停止する前に前記防振機能をオンに制御することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明による制御方法は、取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像装置の制御方法において、前記撮像装置が取り付けられる雲台回転部が回転しつつ画像を取り込む流し撮りモードを選択する選択ステップと、前記流し撮りモードが選択されたことに応じて前記防振機能をオフに制御し、当該オフ制御後、前記雲台回転部の駆動終了命令に応じて、前記防振機能をオンに制御する制御ステップとを備えることを特徴とする。さらに、本発明による制御方法は、取り込む画像のぶれを防止する防振機能を有する撮像

装置の制御方法において、前記撮像装置が取り付けられる雲台回転部の駆動パターンが、一定速度で駆動する駆動パターンであるか否かに応じて前記防振機能のオン及びオフを制御する制御ステップを備えることを特徴とする。